

平成 25 年度 市政運営会議 議事概要

日 時	平成 25 年 12 月 2 日（月）13:00～13:25
議 題	「セントラルパーク構想」及び「福岡城跡整備基本計画」の原案について
出席者	高島市長、貞刈副市長、中園副市長、大野副市長、 総務企画局長、財政局長、住宅都市局長、住宅都市局理事、 住宅都市局みどりのまち推進部長、住宅都市局都市計画部長、 経済観光文化局長、経済観光文化局理事、 経済観光文化局文化財部長、経済観光文化局観光コンベンション部長
決定事項	<p>○「セントラルパーク構想」及び「福岡城跡整備基本計画」の原案等を次のとおりとする。</p> <p>(1) 策定経緯と今後の予定について …別紙 1 のとおり</p> <p>(2) セントラルパーク構想（原案）〔概要版〕 …別紙 2 のとおり</p> <p>(3) 福岡城跡整備基本計画（原案）〔概要版〕 …別紙 3 のとおり</p> <p>(4) セントラルパーク構想（原案） …別紙 4-1 のとおり</p> <p>(5) セントラルパーク構想 参考資料 …別紙 4-2 のとおり</p> <p>(6) 福岡城跡整備基本計画（原案） …別紙 5 のとおり</p>
議事要旨	<p>【財政局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各構想・計画に位置付けられた施策の推進にあたっては、新たな財政負担が見込まれる場合には、適切な時期に財政局と事前協議を行っていただきたい。 ・福岡城跡の整備については、多額の事業費が見込まれることから、事業費の抑制及び平準化を最大限図るとともに、実際に整備する規模及び時期を毎年の予算編成の中で協議をさせていただきたい。 ・福岡城跡整備基金の創設については、広報戦略室と連携して効果的なPRを行うなど、着実な財源確保に努めていただきたい。

【市民局（司会代読）】

・市民の身近なスポーツの場として長年知らしめられている舞鶴公園の平和台陸上競技場や野球場、ラグビー場、テニスコートの移転や廃止を伴う場合には、その移転や廃止の必要性や代替施設の整備等に関する考え方について、市民の理解を得られるように丁寧に説明するとともに、今後も当局とともに十分な検討をお願いしたい。

【大野副市長】

・各構想・計画は、その内容が膨大であるため、パブリックコメントの際には、市民に対して丁寧に説明すること。

【中園副市長】

・天神からの歩行者の誘導方法や、都市の活性化に繋がる方策についても考えること。

・活用例として、クロスカントリーや野外コンサート、野点(のだて)など、多様で具体的な活用方法を提案するなど、市民に愛される公園を目指すことが重要である。

・今後、進められる建造物等の整備の過程を市民が楽しめるよう、各構想・計画の全体像を市民に分かりやすく説明すること。

【貞刈副市長】

・幅広い活用方法とともに、公園の運営方法についてもしっかり検討すること。

・福岡城跡整備基金については、福岡城のイメージが膨らむよう、整備計画をしっかりと説明したうえで、PRすること。

【高島市長】

・福岡市の中心にあるこの公園が、市民の夢として共有され、また、将来の子供達の財産となるよう、関係者と連携して取り組むこと。

・大濠公園・舞鶴公園全体で長いランニングコースが確保できる、広場で楽しめるなど、市民と夢を共有し、共に完成を待ちわびれるようにPRの仕方を工夫すること。